

大項目	たしざん
小項目	合成・分解
タイトル (教材名)	玉さし教材
目的 身につけてほしい力	具体物の操作を通して、5までの合成・分解を理解する。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<ul style="list-style-type: none"> ・たしざんの前段階の「合成・分解」を学ぶ児童生徒に有効。 ・「数えたし」「数えひき」をして答えを出す段階の児童生徒に有効。 <p>玉さし教材を使った学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い玉を3個、白い玉を3個、黄色い玉を1個用意する。 ・玉をさす棒と台、呈示板を用意する。 ・黄色い玉を1個、呈示板に置く。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
教材の使用方法	<p>5までの合成・分解</p> <p>例) 3の合成・分解</p> <ol style="list-style-type: none"> ①赤い玉を3個、白い玉を2個、さし、「こっちの3とおなじにしてね。」と声をかけ、黄色い玉を1個さすよう、促す。 ②黄色い玉を1個入れる時に、「1」と数えながら入れるよう促す。 ③左の赤い玉をさして、「こっちは、3」と言う。次に右の玉をさして、「こっちも、3」と言う。左右を交互にさして、「こっちと、こっちは、おなじ。」と確認する。 ④「白い玉は、2個、黄色い玉はいくつ?」と問いかける。一緒に黄色い玉をさして、「1」と言う。その後、白い玉、黄色い玉をさして「2と1、全部で3」と言う。 ⑤「全部続けて数えるよ。」と声をかけ、白い玉、黄色い玉を1つずつさしながら、「1」「2」「3」「全部で、3」と一緒に言う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参考文献「障害がある子どもの数の基礎学習 量の理解から繰り下がり の計算まで」(宮城 武久、学研教育出版、2015)

